

平成28年6月：第399回 大野市議会定例会

一般質問 6月6日（月） 午前

質問者	質問方式	質問概要
<p style="text-align: center;">野村 (日本共産党大野市議団)</p>	<p style="text-align: center;">一括質問・答弁方式</p>	<p>1 小中学校再編・学校教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大野市の教育が直面する課題をどのように捉え、その対応策はどのようになっているのか。 ○ 国の教育・大学・大学入試改革の議論状況をどのように評価しているのか。 ○ 学校再編と国の教育論議は、どのように関連するのか。 ○ 再編素案は、「病児・障害児（しょうがいじ）教育」について触れられていないが、再編時どのように対応するのか。 ○ 再編計画原案は、どこが決めるのか。再編協議会を再編推進協議会に改組することは決定しているのか。教育委員会事務局の意向なのか。 ○ 学校再編計画（素案）住民説明会記録は、いつ市民に公開するのか。 ○ 学校教育審議会議事録は、いつ市民に公開するのか。
<p style="text-align: center;">梅林 (創生おおの)</p>	<p style="text-align: center;">一括質問・答弁方式</p>	<p>1 健全な水循環の維持、回復のための取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3期折り返しを迎える岡田市長の目指す、大野市の健全な水循環とは。 ○ 越前おおの湧水文化再生計画 短期の総括的評価と、中期に向けての課題は。 ○ 本市の「流域水循環計画」の位置付け、対象期間、構成は。 ○ 8月1日 水の日。本市の取組みは。 ○ 人口減少時代にふさわしい本市の上下水道整備をどのように考えるか。 ○ 災害時における飲料水、生活用水及び汚水処理の対策は。

質問者	質問方式	質問概要
兼井（創生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 大野市を取り巻くリスクについて</p> <p>○ 第五次大野市総合計画前期基本計画の5年間の成果として、これまで実施してきた「人、歴史、文化、伝統、自然環境、食」など、地域資源を磨きつつ、連携させてきた施策の効果が表れ、交流人口・定住人口ともに素晴らしい成果を挙げている。</p> <p>そこで改めて総合計画後期基本計画で、さらなる交流人口・定住人口の増加に取り組むに当たり、総合計画で示されている市の目指すまちの姿、あるべき姿の実現を阻害する不安定要素・リスクには、どのようなものが考えられるか聞きたい。</p> <p>○ また、考えられるリスクに対する対策の優先順位は、どのように考えているのか聞きたい。</p>
		<p>2 「越前おおのブランド戦略」を発展・具体化させた新たな戦略（シティプロモーション）の必要性について</p> <p>○ 地域ブランド調査による大野市の魅力度や認知度の現在の順位について聞きたい。（平成24年には、認知度815位、魅力度790位）</p> <p>○ また、「越前おおのブランド戦略」策定時のアンケート調査「圏域別認知の比較」では、大野市を知らない方の割合が関東圏83％、関西圏79％、中京圏67％であった。これまでの取り組みによって、どのような成果が表れているのか。</p> <p>○ 素晴らしい成果を挙げている「結の故郷づくり」の推進を、次のステージへ進めるために、「大野市総合戦略」と連動し、多くの人々から「選ばれるまち」になるよう、「越前おおのブランド戦略」で定めた方向性等を発展させた戦略プランとして、「シティプロモーション戦略」策定の必要性について、どのように考えているのか。</p>
		<p>3 効果的な人口減少対策の情報発信のために、ターゲットを絞る必要性について</p> <p>○ これまでの「結の故郷づくりの推進」によって、まちへの誇りや愛着「シビックプライド」が醸成された。</p> <p>今後は、次のステージへ進むために、市民、事業者、各種団体などに本市が進むべき方向を示し、その諸活動を導くために「メイン・ターゲット（エリア、属性、ライフスタイル等）」を設ける時期ではないか。</p> <p>人口減少対策に係る調査研究と具体的な施策について検討している「結の故郷創生会議」では、「メイン・ターゲット」の設定について、どのような議論が行われているのか。</p> <p>○ 「大野市人口ビジョン」の分析を見ると「メイン・ターゲット」としては「福井県内の共働き子育て世代の特に女性（が魅力を感じるまちづくり）」が有力と読み取れる。</p> <p>このターゲットが魅力を感じる情報を、新たなブランド・サブキャッチコピーを設け、ターゲットに合わせた手法で発信することなどの検討時期ではないか。お考えを聞きたい。</p> <p>○ また、女性が活躍できる環境整備として、どのような女性の視点、ニーズがあり、どう対応を進めていくのか。</p>

兼井（創生おおの）	一括質問・答弁方式	4 人口減少対策としての教育環境について <ul style="list-style-type: none"> ○ 安心して結婚・妊娠・出産・子育てができる環境づくりを目指し、男女の出会いの場づくりから、結婚・子育てに関する意識啓発、各種子育て支援など、切れ目のない支援は行われているが、子育て環境と同様に、教育環境も定住先を検討する上で重要視されていることから、人口減少対策として、市独自の特色ある教育環境の充実が必要ではないか。取り組みについて聞きたい。 ○ 特に、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語力に注目し、幼児期から小・中学校まで、発達段階に応じた英語教育を充実し、英語によるコミュニケーション能力を養う環境整備について、どのような考えか聞きたい。 ○ キャリングウォータープロジェクトに取り組んでいる市だからこそ、企業等が注目している次世代環境教育「水育」に、人口減少対策として、市内外の親子に参加していただく自然体験プログラムは考えられないか。 また、水で「世界」を結ぶプロジェクトを意識して、英語教育も取り入れた英語によるサマーキャンプの「水育」も、大きな成果が期待できるのではないか。「水育」についてのお考えを聞きたい。 ○ また、現在検討中の小中学校再編計画案の今後のスケジュール等について聞きたい。
		5 ふるさと納税、クラウドファンディング、ふるさと投資の活用について <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後、さらに特色ある事業に継続的に挑戦することが必要と考えられる。 そこで市の財源確保の手法として、既に成果を伸ばしているふるさと納税や、クラウドファンディング、ふるさと投資など、さまざまな手法についての考えを聞きたい。

質問者	質問方式	質問概要
高田（創生おおの）	一括質問・答弁方式	1 教育改革について <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育委員会制度改革の取り組みについて伺いたい。 ○ 学習指導要領における、ゆとり教育と脱ゆとり教育と言われる流れと考え方、また具体的な違いを伺いたい。 ○ ICT機器の利用状況を伺いたい。
		2 結の宿について <ul style="list-style-type: none"> ○ 宿泊施設対策のビジョンを伺いたい。 ○ 宿泊施設再生については、今までにも関わりを持たれてきたと思うが、経緯を伺いたい。 ○ 再生促進事業は、どのようなことをお考えか。

質問者	質問方式	質問概要
永田（創生おおの）	一括質問・答弁方式	<p>1 第五次大野市総合計画後期基本計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前年度の成果の評価はどのように行われているのか。 ○ クオリティを高めるには手間や人件費が掛かるが、成果指標や内容については、市の機構改革のグループ制に伴う取り組みとして、職員の意見などが反映されているのか。 ○ ICT化について、保育園に園児用の監視カメラを設置するとあるが、本庁舎はもとより公共施設等の周辺も含めて、屋外においても防犯用の監視カメラの設置をしてはいかがか。 ○ ICTに関連して、これからはロボットや人工頭脳、ドローンの活用研究などに取り組む必要があると思うが所見を伺いたい。
		<p>2 産業団地について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 工業団地として、青島、中野、春日野、中据の各工業団地があり、オーダーと先行取得があるが、説明のあった13箇の産業団地については、先の3月議会においてバイオマス発電の温熱利用を農業用として活用するとのことでもあり、また、中部縦貫自動車道路インターチェンジに近く、先行取得するとのことであるが、進出企業や用途などがあれば伺いたい。 ○ 各工業団地の充足状況について伺いたい。
		<p>3 大野市地域防災計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 修正後に熊本地震が発生し、短時間に地滑り、断層と地割れなど、群発的に発生するという過去に類例のないような浅い直下型地震となった。 このような中で、大野市における活断層は、温見、宝慶寺断層を想定しているが、研究者も注目している木落と佐開断層が真名川沿いにあり、ダム湖への影響も市民の関心となるところである。 今後、これらを検証する必要があると思うが、所見を伺いたい。 ○ 放射性物質のモニタリングポスト、震度計、その他の計器が市内に点在して設置されているが、各情報を1カ所に集約し、常に公表しておくことが大切だと思うが所見を伺いたい。

質問者	質問方式	質問概要
<p>榮 （日本共産党大野市議団）</p>	<p>一問一答方式</p>	<p>1 住民訴訟について</p> <p>わたしは、これまで最高裁の判決についてという視点から質問してきたが、住民訴訟についての視点から質問したい。</p> <p>○ 前回の答弁では、誘致企業との交渉の中で、不動産の引き渡し時期の変更等について、「協議で決まったことを契約書等で明確にして残しておけば、今回のような判決はなかったのではないかと反省」についての認識に、変更はありませんとのことであったが、このような交渉を、大野市は今後、誘致企業と行うし、できるということか。</p> <p>○ 前回の質問と答弁の流れの中で、「固定資産税の23年度分課税はしなくてよい」との理事者の認識は、判決後も変わらないが、最高裁は27年2月20日に棄却したので、23年度の固定資産課税を27年3月に行ったので、遅延損害金は発生していないとのことだが、4年間のブランクはどう説明するのか。</p> <p>○ 裁判費用84万円も、市民から見れば損害でないのか。</p>